KOUCHOU SENSEI kara HITOKOTO

巨木や ぶどうの 木の根のように

校長 **輿水秀志**

十一月になり、巨摩高校の周りの山々はすっかり紅葉し、色とりどりの美しさをかもし出しています。本校の校庭でも欅や桜をはじめ多くの木々が紅葉し、本校関係者の目を楽しませてくれています。本校には様々な種類の木々が多数植栽されていますが、その中でも校門近くの欅やテニスコートの横のヒマラヤスギや桜の巨木は、凛としてそびえ立っており、思わず見とれてしまいます。欅も桜もヒマラヤスギも、その梢を大空に向けて悠々と闊達に広げ、逞しく成長を続けております。私はこれらの巨木をながめるたびに巨摩高校の八十五年の歴史と伝統の重みを感じています。またこれらの巨木は、地中に深く根を張っているので、記録的な暑さや雨が少ないときでも、強風が吹き荒れているような悪天候の時でもびくともしません。それから、巨摩高校の周辺に目をやると、美しい町並を形成している小笠原商店街やさくらんぼや桃やぶどうなどの果樹地帯があり、その調和した光景は、人々の心を和ませてくれます。

ここで、果樹地帯に関連して、少しぶどうにちなんだ話をしてみたいと思います。フランスにボルドーというところがありますが、一見、草も生えないような石コロだらけの土壌が地表を厚く覆っています。一般的に、肥沃な土地で十分な肥料を与えられたぶどうの木は、根を浅くはり、ヌクヌク育ちます。しかし石コロだらけのボルドーの土地に植えられたぶどうの木は、必死に根をはり、水脈と滋養分を求めて地下何メートルかの深さまで伸びていきます。地中深く活路を得たぶどうは、地表での大雨や旱魃、病害虫の影響を受けず、安定した状態で成長し、立派な実を結びます。もちろん過酷な試練に打ち勝って安定自立するまで、二十年近くの歳月を要するのだそうです。そうして、地中からたっぷり養分を吸い上げて結実したぶどうから作られたワインはすばらしい味になっています。一見、石コロだらけに見えるボルドーの地表礫層は、地下水分の蒸発を防ぎ、太陽熱を吸収するので、ぶどうの生育にとっては、厳しい条件が多くて大変ですが、役に立っている部分もあります。

巨摩高校の生徒諸君、巨摩高校の校庭の巨木やボルドーのぶどうの木が地中深く根をはるように、あらゆる場面でしっかり基礎を固め、多くの事を吸収し、どっしりと大きく構え、さまざまな困難に打ち勝ち、伸びていってください。そして逞しく大きく成長してほしいと願っております。

卒業生 Message

今の大学へ入学できたのは、理数コースでの進路指導のおかげです。

名取 俊さん
現在 早稲田大学理工学部4年生
（櫛形中学校出身）

巨摩高校を卒業して4年が過ぎ、私は現在、大学で物理学を専攻しながら、物理の教員を目指しています。理系進学を意識した理数コースで、充実した進路指導のもと、学ぶことの大切さを実感し、ものの学び方を身につけることができたと思います。今の大学へ入学できたのは、理数コースでの進路指導のおかげであるし、理数コースで学べたからこそ、現在の充実した大学生活を送れていると感じています。高校時代に培った数学・理科の力は、大学での学習や研究でも大いに役立っており、大学受験という意味だけでなく今につながる力を得ることができました。

また、社会に出ることを意識し始めた今、生涯にわたって学ぶことの大切さや必要性を実感していますが、高校時代に学ぶ力を身につけることができた事が、私にとって大きな武器となっています。巨摩高校の理数コースで過ごした3年間は、今の私の根幹を成していると言えます。将来は、高校時代に理数コースで学ばせて頂いたことを多くの人に還元してゆきたいと考えています。

特集 理数コース

巨摩高校の理数コースってこんな感じ。

大学進学を目指して、しっかり勉強!!
スクールライフも、しっかりエンジョイ!!

理数科目はもちろん、文系科目も、自分の志望に応じて重点的に学ぶことができるので、理系大学・文系大学共に、高い合格率を実現しています。
でも、だからといって…… 巨摩高校の理数コースは、「勉強ばかり」とか「いつもマジメェ～な雰囲気」ってわけでもないんです。
「いざっ」という時には、素晴らしい団結力を発揮するクラス。そして、生徒会活動や、部活動と勉強を両立しながら、大学進学を目指して頑張る生徒たち……
しっかり勉強して、しっかりエンジョイ。
皆さん、とても、とても充実したスクールライフを送っています。

在校生 Message

静岡大学情報学部にAO入試で合格することができました。

手塚早美
（3年／白根巨摩中学校出身）

私は理数コースの3年生です。クラスは女子がやや少ないですが、とても仲良く団結力もあります。授業は数学や理科が多いですが、国語や英語もしっかりと学べるので、理系・文系どちらの進学にも対応出来ます。私は数学が好きだったこともあり、特に理系科目に力を入れて頑張りました。そして、多くの先生方に指導していただいたおかげで、静岡大学情報学部情報学科にAO入試で合格することができました。理数コースに在学して本当に良かったと実感しています。

4年制大学の工学部への進学を目指して頑張っています。

清水陽平
（2年／白根御勅使中学校出身）

僕は理数コースの2年生で、将来は4年制大学の工学部への進学を目指して頑張っています。理数コースは理系科目を重点的に学ぶことができ、理系大学への進学には最適な環境だと思います。その分、必要とされる学習量や課題も多いですが、やりがいがあります。また、僕は生徒会本部役員としても活動していますが、クラスの中には、生徒会長もいます。僕たちのクラスが桃源文化会館の学校説明会で行ったパフォーマンスを観てくれた人はわかると思いますが、クラスの団結力も魅力です。理数コースで充実した日々を送っています。

部活動と学習の両立で、充実した毎日が過ごせています。

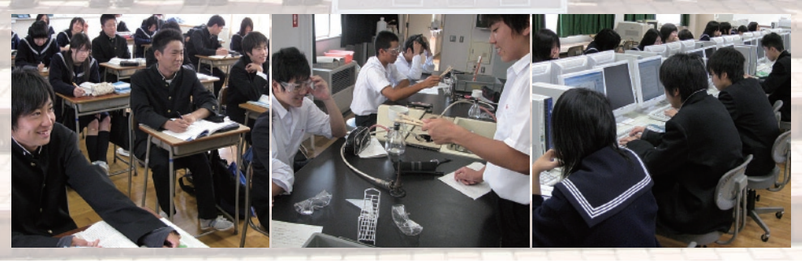
櫻田千絵
（2年／櫛形中学校出身）

私の進路希望は文系大学です。初めの頃は理数コースでの文系希望ということで不安もありました。しかし、文系科目に重点を置いて学ぶことも可能で、これまでにも多くの先輩が文系大学に進学している実績もあり、今は自分の目標に向かって充実した学習が出来ています。また、私は吹奏楽部に所属していますが、その活動と学習の両立で、充実した毎日が過ごせていると思います。これからも、さらにいろいろな事に精一杯頑張っていきたいと思います。

特に数学は、基礎はもちろん発展的な問題にも力を入れ、レベルアップが図れます。

秋山正太
（1年／増穂中学校出身）

僕は理数コースに入学して本当に良かったと思っています。学習面では、先生方の授業が分かり易く、特に数学は、基礎はもちろん発展的な問題にも力を入れ、レベルアップが図れます。理学部数学科へ進学し、数学を学びたい僕には大変ですが、頑張り甲斐もあります。さらに、ずっと続けている珠算にも陰ながら応援してもらい励みになります。また、クラスの仲間との絆が強くなり、今からの高校生活も楽しく充実して過ごせると確信しています。



2008年度 特集 アメリカ研修旅行

英語力はもちろん、人間性という面でも大きく成長。

2008年度アメリカ研修旅行団（男子3名、女子8名、引率の池川富美子先生・芦沢友也先生）が、12日間の語学研修旅行を体験しました。9月29日～10月4日は、デンバーでホームステイをしながら午前中英語の授業、午後は観光、10月5日～10月10日はアイオワでホームステイをしながら現地の高校に通いました。芦沢先生によると、生徒はよく英語を使って会話をして、ホームステイの家族ともとても仲良くなった、有意義な研修旅行だったそうです。